opusdei.org

黙想:聖マリアの奉献(11月21日)

黙想のテーマ:「完全に神のものであるマリア」「神の家族に属するために」「大小様々なことにおける忠実」

2025/11/19

完全に神のものであるマリア

神の家族に属するために

大小様々なことにおける忠実

その滞在期間の後、マリアはヨアキムとアンナと共に普通の家族生活の戻り、一人前になるまで、二人なこしました。特別なしましたのかったちといったといったのでは、神の御子ではないでは、神の御子ではいるとして、中の御子ではいるとして、主を見つめて生活し、聖母のでののでして、まさに、聖母のではいます。今日の祝日は、まさに、聖母のではいます。

神への全き所属、全生涯にわたる救いの神秘への十全な献身を、祝うのです。

「早くも全面的に神殿で神に捧げら れた聖なる少女マリアのように、私 たちもこの日には、直ちに、条件な しにマリアに全てを捧げましょう | mと、聖アルフォンソ・マリア・ デ・リゴリオが書いています。聖母 は、ご自身の生活そのもので、御子 を目指す道をわたしたちに示してく ださいます。それは、私たちも主を 中心に据えるようになるためです。 「マリアの手、まなざし、表情は、 生きた『カテケージス』であり、常 に十台、中核であるイエスを指し示 していますしていますしていますしていますしていますしていますし

イエスが群衆に話しておられると、 突然、ある人が主に話しかけます。 「御覧なさい。母上とご兄弟たち が、お話ししたいと外に立っておられます」。主は、自問自答でお答えになります。「わたしの母とはだれか。か。わたしの兄弟とはだれか。(…)だれでも、わたしの天の父の御心を行う人が、わたしの兄弟、姉妹、また母である」(マタイ12・46-50)。

キリストのこの言葉には驚かされま す。たぶん私たちには、主が、御母 との関わりの重要性を軽視しておら れるように思えるでしょう。しか し、注意深く見てみると、神なる師 は、聖母が、御子との親密な繋がり の泉である、その召し出しを忠実に 生きたことを称揚しておられること に、気づきます。聖アウグスティヌ スが、イエスご自身のことばとして 解説しています。「あなたがたが、 わたしの母を、幸せな人だと言って いるのは正しい。それは神の御言葉 をよく守ったことによります。(…) というのも、彼女を創造し、彼女に

おいて人となった、神の御言葉当人 を忠実に守ったからです」[3]。

私たちは、主のこの言葉から、イエ スに従う人たちが、主御自身の家族 の一員になれることを学びます。誰 でも、キリストと共に生き、父であ る神のみ旨を果たそうと望む人は、 社会の善に協力する者以上の存在に なります。「イエスの弟子になると いうことは、〈神の家族〉に属し、 イエスの生き方に従って生きるよう にとの招きを受け入れることです | [4]。すでに神の御前におられるマリ アに、日毎に御子イエスのもっと近 くに行ける恩恵がもたらされるよう に、助けをお願いしましょう。

福音書には、マリアが、神のみ旨に 忠実に応える場面が幾つかありま す。天使のお告げの時の〈はい〉を 「皮切りに、その母としての生活に 付随する従順の歩みが始まりまし た上ा。その忠実が最高に輝いたの は、御子イエスの十字架のもとに留 まり、孤独のうちに主を慰められた 時です。福音記者は、聖母の反応に ついては何も語っていません。ゴル ゴタでのことは、ただ、聖母がそこ に〈立っていた〉と記しているだけ です。聖母には、人目を避けると か、不安げな様子とかは、まったく 見られません。度々、手にした大き な幸せは、ただ御子と共に〈いるこ と〉したが、この度は、大きな苦し みを伴っていたのです。

マリアの一生は、福音書には見られないけれども、細やかな忠実さに満ちた日常生活だったはずです。おそらく、当時の多くの女性と同じような日々だったことでしょう。人々た同じその仕事は、神のみ旨を果たら同じその仕事は、神のみ旨を果たらされる大小様々なことを聖化しました。それは、一見、あまり価値のな

い事のようですが、実は大きな価値のあることです。自分のすざてのしたです。自分のできましたできまり、愛を込めることがでは自己とがでは自己といるに動かされた聖母なるとどまり、神のお望みになるとどまり、神のといるのです。そくだしたのです。そうであればことがです。そうで、取るに足らぬどころか、取るに足らぬどころのです」「『』。

こうして、後年、イエスが弟子たちに「ごく小さなことに忠実な者は、大きなことにも忠実である」(ルカ16·10)と言われたことを、神殿である。マリアは、神殿で活をといたのです。マリアは、の生活をといってときから、神中心らきのともといった。聖霊のはたらさるとによって、大きなことができました。忠実であることができました。

- [1] 聖アルフォンソ・マリア・デ・リゴリオ『聖母マリアの栄光』第2部、第3話(San Alfonso María de Ligorio, Las glorias de María, Parte II, Discurso III)I。
- [2] フランシスコ、一般謁見演説、 2021年3月24日。
- [3] 聖アウグスティヌス『ヨハネによる福音書講解説教』第10説教、3 (San Agustín, In Ioannis Evangelium 10,3)。
- [4] カトリック教会のカテキズム、 2233番。
- [<u>5</u>] フランシスコ、一般謁見演説、 2017年5月10日 。
- [6] 聖ホセマリア『知識の香』148 番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/mokusou-sei-maria-houken/(2025/12/13)